



四峡小だより

学校教育目標「元気な子」「やさしい子」「考える子」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



創立100周年
令和7年度 11月号
荒川区立第四峡田小学校
校長 宮原典子



「言葉への感性」～会話を豊かに～

校長 宮原 典子

特選

選評

鮮やかな紫陽花の色が町全体に季節感を運んでくる様子を生き生きと描いています。「色をもつてくる」という表現は、単なる視覚効果以上に、町中に命を感じさせる動きを感じさせます。季節の移ろいを象徴する美しい表現です。

あじさいが町中に色をもつてくる
(第四峡田小学校4年さん)

『『まちじゅう』ではなく、『まちなか』と読むそうです。』と私に伝えに来てくれた担任がいました。区内俳句推進事業の1つ「あらかわ俳壇」に、本校は時々学年ごとの取組で応募参加しています。小中学生の部でトップの「特選」を受賞した4年生児童に、ちゃんと前もって聞いておかなかった私のミスでした。全校朝会で、受賞した俳句を読んで紹介するときに、私自身「ん？」と少し躊躇したのですが、私の判断で「まちじゅう」と読んで発表し、間違えてしまいました。受賞した児童へ「ごめんなさい。」と会話しに行きました。次の全校朝会で、受賞した児童へ読み間違いのお詫びと、全校児童へ読み方一つでイメージが変わることも話し訂正を伝えました。洗練された言葉による風景に思いが託され、本当にすてきな俳句です。

「町中」をどう読むか、という言葉への思考は、その俳句の風景の意味や音の響きを決める自分なりの「言葉への感性」が重要になります。言葉一つへ、心を働かせて選ぶ感性は、人としてより良いコミュニケーションをとりながら生きていく上で大変大切なことです。

荒川区報 10/11号掲載俳句

最近、NHKでドラマ放映されていた「舟を編む」(著者・三浦しづん)では、言葉一つ一つの意味深さや、その言葉が掲載されている辞書の尊さを考えさせられました。また、女優の芦田愛菜さんは著書「まなの本棚」で、「ふしぎ日本語ゼミナール」(著者・金田一秀穂)を紹介し、以下のように述べています。

日本語の文化や伝統を知った後、強く思ったのは「できるだけきれいな日本語を使えるようにしたいな」ということでした。もちろん私も普段友達と一緒にいるときは「やばい！」というような、今っぽい言葉も使います。でも、場所や相手によってきちんと正しい敬語が使えたり、その場面に応じて、ぴったりな表現や言葉遣いができたりする人を見ると『かっこいいなあ』と憧れてしまいます。

改めて、学校の日常や学びの場で、児童の「言葉への感性」を育てることができる言語環境作りに努力していくことを、教職員一同で取り組んで参ります。もちろん、上記のように、私が言葉を間違えて表現してしまうようなことも起きるかと思います。その都度、児童と一緒に考え会話することで、学びとなるように取り組みます。

ぜひ、御家庭でも、お子さんの興味ある事や好きな事、学校の授業などから話題を見付け、目を合わせて会話をし、和やかなひと時を過ごしながら、「言葉の選び方」や「言葉への感性」を磨いてあげてください。

最近のことなら、6年生は、先週の「百周年記念ハナミズキ植樹式」や総合「荒川の魅力を伝えよう」、周年式典へ向けての「喜びの言葉」作りと分担決め、式典の歌のこと。5年生は、新1年生の就学時健診の手伝いでドキドキしたことや、防災対策への取組。4年生は、下水道見学のこと。3年生は、自転車安全教室のこと。2年生は、かけ算九九のこと。1年生は、スマイルパーティーや朝顔リースのこと。本校ホームページの「学年のページ」は、毎週更新されていますので、参考にしていただけたとよいと思います。



百周年記念 PTA寄贈「紅白ハナミズキ」

【参考】「令和6年度全国学力・学習状況調査」の児童と保護者への調査結果で、以下の分析がありました。

- ◆授業がよく分かる場合も分からぬ場合も、家で保護者と勉強の話をする児童・生徒は、勉強時間が長い。
- ◆「計画的に勉強するよう子供に促している」「子供と学校の勉強のことについて話している」保護者の児童・生徒は、勉強時間が長い。』

～目を合わせ和やかな会話から、勉強意欲も高めてあげられそうです。～

◎連合運動会の様子

6年

10月8日（水）に四峡小を会場とし、峡田地区連合運動会が行われました。この日のために自己新記録を目指し、9月16日からの放課後練習に一生懸命取り組みました。当日の朝に行われた全校集会では、5年生の応援団を中心に下級生のエールをうけ、四峡小の代表という重みを感じていました。本番では、児童一人一人のこれまでの努力と大きな声援を力に変え、喜びや悔しさも全員で共有し、一丸となってベストを尽くすことができました。会場でも保護者の皆様や先生方にたくさんの応援をいただきました。何事にも全力で取り組む姿、目標に向かって協力し考えた経験を糧に、残り半年でさらなる成長を見せる6年生の今後が楽しみです。

（児童の声）

- ・ここまでこられたのはみんなの努力と先生方が支えてくれたからだと思う。
- ・連合運動会を通して自信となり、絆を深められた。
- ・本番は1回しかないけれど、楽しんでできだし、連合運動会をやってよかったですと最高の思い出になった。



◎セーフティ教室の様子

2年

10月20日（月）に荒川警察の方が来てください、セーフティ教室がありました。

道路を安全に歩くためにはどうしたらいいのかDVDを見たり、実際に歩いてみたりして考えました。最後にはクイズをし、全員全問正解し、免許証をもらいました。

学級でもこれから登下校について話しましたが、御家庭でも交通ルールについて確認してみてください。



◎スマイルパーティーの様子

特活部

創立100周年という節目の今年から、新しい歴史を築こうとキッズパラダイスはスマイルパーティーに生まれ変わりました。10月22日（水）、各教室や体育館を舞台に賑やかに開催され、4・5・6年生の工夫を凝らした企画で、スマイルパーティーの名にふさわしく、スマイルいっぱいの時間になりました。

給食もスペシャルメニューが提供され、いつもは提供されないりんごジュースに子供たちは満面の笑顔を浮かべていました。



スペシャルメニュー



はなかめさんが遊びに来てくれました！